

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

資料1

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県、海陽町	地域再生計画名	「海陽町の安心・安全な未来をつくるまちづくり計画」
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	海陽町 建設課長 黒木辰也		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	災害時地域孤立リスク低減 災害時における地域住民の孤立回避率の向上	0%	H28	100.0%	R1	50.0%	100%	R3	50.0%	×	3	1	神野地区については神野橋（海南柿谷線）の更新が完了し災害時の孤立回避が図られた。吉田地区については城満寺線の改良工事が工法の再検討や工事工程の見直しにより、目標達成とはならなかったが、次期計画により継続して整備を進めている。
	指標2	山腹崩壊抑止面積の増加	150ha	H28	270ha	H30	209ha	350ha	R3	466ha	○	3	1	最終的に目標を達成できた。次期計画でも更なる整備面積の増加に努める。
	指標3	効率的な森林整備の実施 木材の年間素材生産量の増加	34,100m <sup>3</sup>	H28	46,300m <sup>3</sup>	R1	42,902m <sup>3</sup>	58,900m <sup>3</sup>	R3	47,820m <sup>3</sup>	×			最終実績は目標を達成出来なかった。所有者の高齢化や搬出コストの関係で施業離れが進行している状況である。次期計画では林道の整備延長を伸ばし、目標値に近づけるようにしたい。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況		指標1												
		指標2												
③事業の進捗状況		事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（R1）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業		町道整備事業（整備延長）	350m	275m	275m	当初計画に対し、実績率は50%となった。次期計画により継続路線については引き続き整備を推進し地域住民の孤立回避率向上を図る。								
		林道整備事業（整備延長）	3800m	2670m	3168m	最終実績については、限られた予算の中で目標を目指したが、地形が急峻であり、施工単価が高くなる傾向にあったため、延長が伸びず計画目標に届かなかった。次期計画についてはコスト削減を検討しながら整備延長を伸ばしていきたい。また、神野玉笠線については、用地相続問題で工事を一時中止するを得なくなったため、今後問題解決に向けて検討及び交渉を行っていく。								
その他の事業						最終実績は目標を達成出来なかった。所有者の高齢化や搬出コストの関係で、施業離れが進行している状況である。次期計画では、林道の整備延長を伸ばし、目標値に近づけるようにしたい。								
計画外で独自に実施した事業		宍喰地区地域防災公園整備事業	南海トラフ巨大地震により孤立が懸念される宍喰地区に防災公園を整備する		防災公園については本体工事に着手済みであり早期完成を目指し事業を推進している。またアクセス道である県道改良工事や阿南芸芸自動車道についても整備が進んでおり、引き続き連携を密にして事業を推進する。									
		森林林業再生基盤づくり交付金等事業	森林の機能回復と木材資源の確保		林道を基幹として、そこから波状する森林道及び作業道の整備を行い、森林の適正管理を進め、森林の機能回復と木材資源の確保を図れた。									
		造林事業	企業誘致と若者定住確保の実施		造林、下刈り、間伐等の森林の保育事業を行い、地域活性化の原動力となる間伐材の有効利用を図り、適正な森林維持に努めた。									
		「海陽町元気になる和」事業	地域特産物のブランド化		食の安全安心、地産地消、食育を柱として、町、町民、農林水産業者及び商工会業者の役割を明らかにすることにより、海陽町の元気な未来を実現する為に地域の産物のとくまブランド化に取り組んだ。									
		農林業における人材育成	資格養成研修等の実施		林業については、搬出間伐等に使用する高性能林業機械の操作を行う林業従事者（オペレーター）において、機械操作に係る資格（車両系建設機械運転技能、小型移動式クレーン運転技能、林内作業車集材作業安全教育等）を有する「林業プロフェッショナル」の養成を図り、林業テクニクススクールとの連携により、南部地域の林業従事者の資格取得と技術力の向上に努めた。									
		とくしま林業アカデミー	林業担い手育成		林業を行う上での実践的な技術を習得させ、県産材生産量の増大を担う若い林業従事者を増加させることを目的とし、平成29年度に6人（全体11名）、平成30年度に5人、内女性1名（全体13名）、令和元年度に4名（全体13名）、令和2年度に4名（全体15名）、令和3年度に4名（全体12名）が南部地域の林業事業体に就職し、林業現場の即戦力として活躍している。また、令和4年度には、5名（全体19名）が新たに南部圏域の林業事業体に就職した。									
④評価方法		徳島県・海陽町地域再生協議会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法		海陽町のホームページに掲載する。												
⑥計画全体の総合評価		本地域再生計画では、道整備交付金を活用して町道整備と林道整備を一体的に実施することとしており、町道整備においては2路線中、1路線が完了し残路線については次期計画により継続して事業を進め、R5事業完了見込みであり、道路網のネットワーク化や災害時の避難路・迂回路としての機能確保に向けて着実に取組みを進めている。林道整備においては、計画目標には届かなかったものの、今まで森林施業が困難であった地域については充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、効率的な施業の実施が可能となった。												
⑦今後の方針等		本地域再生計画においては、町道整備に係る一部目標において未達となったものの、整備の取組みは着実に進んでいる。次期地域再生計画において、引き続き町道と林道を一体的に整備していくことにより、安心・安全な地域づくりに努めるとともに、町内地区間のアクセス改善や効率的な森林整備の実施による林業振興を通じて、県と町が連携して「地方創生」に向けた取組みを推進していく。												